



市内経済と行政運営について

黒田 茂（菊川ゆめ未来）

動画は
こちらから



物価高騰や人手不足、原材料費や金利の上昇など、景気停滞と物価上昇が同時に進む「スタグフレーション」が懸念される。市内企業や市民生活への影響を踏まえ、本市の現状認識と今後の対応について質問した。

◎ 中小・零細企業を中心とした市内景気の現状をどのようにに認識しているか伺う。

▲ 製造業では一部回復の動きが見られるが、非製造業では物価高や人件費の上昇により悪化している。人材確保が困難な状況や原材料費の高騰など先行きは不透明であり、引き続き注視していく。

◎ 金利上昇が市内企業へ与える影響を伺う。

▲ 借入依存度の高い中小企業では、金利上昇により資金繰りが厳しくなり、設備投資や事業拡大に慎重となる可能性がある。

◎ ナフサショックで建設資材不足の現状である。市内大型

事業の事業費や工期に影響を及ぼすと考える。災害対策本部棟及び堀之内体育館一体整備事業の事業費と工期についての契約内容を伺う。

▲ 建設工事請負契約約款において、「特別な要因により主要な工事材料の日本国内における価格に著しい変動を生じ、請負代金額が不適当となったときは、請負代金額の変更を請求できる」、「受注者の責めに帰すことができない事由により工期内に工事が完成できないときは、発注者に工期の延長変更を請求できる」と定められている。

他に「教育現場における熊出没対応」について質問しました。



広報菊川4月号で考えること

織部 光男（無所属）

動画は
こちらから



広報菊川4月号では、施政方針の抜粋と基本的な取組、主要事業として22の事業紹介がある。その中の地球温暖化対策の推進では、温室効果ガス削減目標の見直しが挙げられている。

◎ 生ごみの再利用化は何年後になるか。

▲ 処理施設の設置については、設置候補場所の地域住民への理解を得ることや設置費用の捻出など、多岐にわたる課題解決が必要であり、資源化するには相当の時間を要するものと認識している。

◎ 令和8年度予算大綱の歳入

歳入一般会計235億9800万円が記載されている。自主財源が45%の106億2897万円、依存財源は55%である。新たな財源を創り出すと取組にあるが、目標金額は。

▲ 企業版ふるさと納税については目標金額を設定していないが、ガバメントクラウドファンディングは1事業当たり

100万円、ふるさと納税は2億2000万円を目標金額として設定している。

◎ 市長在任中の財政力指数低下は何が要因と分析しているか。

▲ 令和3年度から本市の財政力指数は低下しているが、これは基準財政収入額が減少したためではなく、基準財政需要額が増加したことによる。理由は、令和3年度以降、国において地方が必要とする経費として新たな項目を追加したことによるものである。

